

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日欧高校生交流プログラム		担当部局庁	欧州局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度開始・平成22年度終了(一旦中止)		担当課室	政策課		課長 倉光 秀彰			
会計区分	一般会計		施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項二		関係する計画、通知等	日・EU協力のための行動計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若者の交流は未来志向の事業として正しい対日理解の涵養に有意義である。特に感受性の高い高校生の交流を拡大EU諸国等を対象として実施することにより、長期的観点において対欧州外交の貴重な財産となることが強く期待される。当プログラムは、我が国に関心を持つ拡大EU諸国等の高校生の対日理解を更に促進することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	欧州各国の高校生を日本に招聘。同世代の日本人や地方の一般家庭との交流を通じ、日本の魅力を体験。毎年、長期は5ヶ月程度、短期は5週間程度で併せて約60名を招聘。 体験内容:(1)日本語集中研修 (2)高校への体験入学及びホームステイ (3)地方視察								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予 算 の 状 況	当初予算	46	46	47	-	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	46	46	47	-	-		
	執行額		47	46	46	-	-		
執行率(%)		103.4%	99.8%	98.8%	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	【成果目標】参加者の日本に対する理解の増進 【成果実績】参加者を対象としたアンケート結果における、プログラムに満足した人数/アンケート回答総数			成果実績	人	50	58	62	
				達成度	%	96.1(50/52人)	96.7(58/60人)	100(62/62人)	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	ホームステイやイベントを通しての地域交流 日本での就学中における高校生との交流 (参加者数)			活動実績 (当初見込み)	人	短期:30	短期:45	短期:47	—
				人	長期:26	長期:15	長期:15	()	
単位当たり コスト	短期:29.681.423円/1事業あたり 長期:16.673.008円/1事業あたり			算出根拠					
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	-	-	-	-					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	これまでの事業成果を見極めるため、23年度より本件事業の実施を一旦中止した。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度より事業中止。		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省
46.35百万円

EU加盟国及びその他の欧州地域の高校生を我が国に招致し、プログラムを通して日本への理解を深めさせる。

【企画競争】

A. (社)国際フレンドシップ協会
46.31百万円

各国の高校生を日本の高校への体験入学と一般家庭でのホームステイを実施する。

【競争性のない随意契約】

B. 個人A
0.04百万円

本件事業への選考過程の公平性の確保から第一次選考(書類選考)及び第二次選考(面接)を行う。(在オランダ大が契約)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(社)国際フレンドシップ協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事務局経費	8			
その他	事業実施経費(参加者渡航費、謝金、旅費)	38			
計		46	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際フレンドシップ協会	各国の高校生を日本の高校への体験入学と一般家庭でのホームステイ等を実施する。	46	3	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人 A	本件事業への選考過程の公平性の確保から第一次選考(書類選考)及び第二次選考(面接)を行う。	0.04	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					